

NO <b>7021</b>		レジメン名 <b>ペムブロリスマブ-CBDCA/5-FU</b>								
病棟	患者番号	氏名	指示医師名							
癌種	ステージ	PS	クール数							
年齢	身長	体重	体表面積							
歳	cm	kg	m <sup>2</sup>							
		GFR(血清クレアチニン値) ml/min (mg/dl)								
【適応がん種】 頭頸部がん		CCr補正	GOT補正							
1. ペムブロリスマブ <b>200</b> mg/body DAY1 (キイトルーダ点滴静注)										
2. フルオロウラシル <b>1000</b> mg/body DAY1~4										
3. カルボプラチン <b>AUC5</b> DAY1 【カルバートの式: CBDCA量(mg) = (GFR+25) × AUC】										
21日(3週)1クール		T-Bil補正								
		WBC基準	HGB基準							
		GOT基準	T-Bil基準							
		PLT基準	Scr基準							
		【病状】 1 全て説明している 2 病名は説明しているが、詳しい病状については説明していない 3 未告知である 【治療】 1 抗癌剤による治療・予防と説明 2 抗癌剤とは言わず治療薬と説明 3 抗癌剤とは言わず予防薬と説明 4 薬に関しては説明していない 平成20年7月1日 改訂								
NO	薬品1	規格	本数	薬品2(規格本数)	時間・投与法					
①	生理食塩水		1	本 50mL	15分					
②	キイトルーダ( )	200mg	1	本 ★生食100mL	30分以上かけて点滴					
③	生理食塩水		1	本 50mL	5分で点滴(フラッシュ)					
④	アロキシバック		1	本	③終了後全開で点滴					
⑤	デキサート 6.6mg		1.5	本 生食50mL	15分で点滴					
⑥	カルボプラチン( )mg	450mg	本	生食500mL	デキサート終了後～ 1時間で点滴					
		150mg	本							
		50mg	本							
⑦	生食50mL		1	本	カルボプラチン終了後～ 全開で点滴					
⑧	デキサート 6.6mg		1	本 生食50mL	全開で点滴					
⑨	フルオロウラシル( )mg	1000mg	本	5%ブドウ糖500mL	24時間持続・ ポンプ使用					
⑩	生食50mL		1	本	治療薬終了後～ 全開で点滴					
【延期基準】		【注意事項】 Infusion reactionの予防が必要な場合は、投与30分前に、ジフェンヒドラミン(レスタミンコーワ50mg内服)、必要であれば、アセトアミノフェン(カロナール300～1000mg)の投与を考慮する。								
【看護師注意事項】 Infusion reactionとして、発熱、悪寒、そう痒症、発疹、高血圧、低血圧、呼吸困難等があらわれることがあるので、本剤の投与は重度のInfusion reactionに備えて緊急時に十分な対応のできる準備を行った上で開始すること。また、2回目以降の本剤投与時にInfusion reactionがあらわれることもあるので、本剤投与中及び本剤投与終了後はバイタルサインを測定するなど、患者の状態を十分に観察すること。なお、Infusion reactionを発現した場合には、全ての徴候及び症状が完全に回復するまで患者を十分観察すること。  インラインフィルター(0.2又は0.22μ m)を使用すること。										
月日	指示	指示医	受け	監査	払い	払監	調製	調監	前確	実施
	①②③④⑤⑥⑦ ⑨									